

## 令和2年度 第3回 川口市介護保険運営協議会議事録

### 1 開催日時

令和2年10月29日（木） 午後2時から午後3時

### 2 開催場所

市役所 第一本庁舎8階 第3・4委員会室

### 3 出席者（委員総数14名、出席委員11名）

【出席委員】吉田会長、小寺副会長、石川委員、渡辺委員、畑中委員、高木委員、  
内田委員、榎本委員、櫻井委員、長谷部委員、山田委員

【事務局並びに関係職員】

福祉部長、福祉部理事、介護保険課長、長寿支援課長

【事務局補助】

介護保険課職員、長寿支援課職員

### 4 議事及び次第

・開会

・会長挨拶

・議題

審議事項

（1）第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子（案）について  
報告事項

（1）部会の実施状況について

（2）令和元年度 地域包括支援センターの活動状況等について

その他

・副会長挨拶

・閉会

### 5 議事録署名人 石川委員 渡辺委員

### 6 傍聴人の数 1人

### 7 会議の概要

会長挨拶の後、事務局により、本日の委員出席者数について報告が行われ、条例に基づき会長が議長となり議事が進行された。

会長の指名により、今回の議事録署名人は、石川委員、渡辺委員となった。

事務局による各議事の説明の後、次の質疑応答がなされた。

## 【質疑応答の概要】

### 「報告事項」

#### (1) 部会の実施状況について

資料1に基づき、第1部会長及び第2部会長より報告が行われた。

### 「審議事項」

#### (1) 第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子(案)について

資料2に基づき、事務局より説明が行われた。

委員 これまでの計画と比較して、計画の中身が繰り返しいつも同じように感じる。発想の転換といったような考え方が出てこないのかと思う。  
予算関連の内容についての記載はしないのか。

事務局 給付費の見込み等の予算については、今後算定し提示していく。

委員 それは、別の計画や内部計画に記載するのか。

事務局 介護保険事業に係る給付費の見込みについては、本介護保険事業計画に掲載するものである。

委員 資料2の30ページ、「1.在宅医療・介護連携の推進」の課題について、地域における医療・介護関係者の連携を推進するためのしくみづくり及び人材育成を図るとあるが誰がやるのか。市がやるのか、どこかに委託してやるのか、地域包括支援センターがやるのか。

事務局 30ページについては、第7期の振り返りと第8期に向けての課題ということで整理をしている箇所である。第8期の内容に関しては、54ページ以降をご覧頂きたい。在宅医療・介護連携の推進は市として取り組んでいくことと考えているが、実際の、例えば、研修については、在宅医療サポートセンターに医療・介護の専門職としてコーディネーターを配置しているため、連携しながら、地域の医療・介護関係者を中心とした研修等を進めていきたいと考えている。その中で、実際の連携の現状や課題について共通認識を持った上で、どのような情報が必要なのか、情報を共有するためにはどのようなしくみづくりが必要なのか、議論を進めていきたいと考えている。

委員 誰がこの計画を見るのか、誰がこの計画を使うのかを考えて、使う人、見る人のために作成して欲しい。

続いて、PDCAについて。マネジメントサイクルについて言及しているが、具体的な計画がないとマネジメントサイクルは出てこないのではないのか。

事務局 介護保険運営協議会においても、計画の進捗状況の報告の際にチェックしていただいていると認識している。

委員 「課題」部分は、P D C Aの「Check」に該当する。「Action」がこれから出てくるわけだが、「こういう課題があるからこれからこうやっていきます」ということが出てくると良いと考える。

事務局 第7期計画の振り返りを行い、課題を抽出し、それをもとに第8期計画を策定しており、第2章にて具体的な取り組みを掲載している。

委員 外国籍の住民の介護保険制度の適用関係について伺いたい。

事務局 外国籍の方も川口市に住民登録されており、介護保険の適用対象となる。

委員 外国人の方はそのことを承知しているのか。

事務局 市から保険料の徴収にあたり、様々な通知を送付している。また、実際に介護サービスを利用されている方もおられる現状である。

委員 元気な高齢者になって貰うために、体操教室等の様々なボランティア活動をしているが、それに対する支援・助成制度はどうなっているのか。

事務局 市として個別の団体に直接補助金を払うという形はとっていない。しかし、毎年度10月から介護予防ギフトボックス事業という事業を行っている。これは、市内で活動している企業・団体の介護予防に資する活動について市に登録して頂き、それを一覧にしたパンフレットを市で作成している。これらの教室等に、会員ではない方が参加する場合、当初の3か月間、会費の一部を助成するというかたちで、高齢者が新しく介護予防活動を始めるきっかけづくりや、地域活動の周知・支援をしている。

議長 それでは、報告事項(1)「部会の実施状況について」及び審議事項(1)「第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子(案)について」は以上でよろしいか。

委員 異議なし。

## 「報告事項」

### (2) 令和元年度 地域包括支援センターの活動状況等について

資料3に基づき、事務局より説明が行われた。

委員 71ページの収支決算状況について、委託料については承知したが、委託料も含め確認をしているのか。努力して運営しているとは思いますが、リース料がかなりまちまちである。リースとは何か。

事務局 地域包括支援センターにより建物の賃借料が発生するセンターと、法人本部に併設されている等の理由で、賃借料が発生しないセンターがあり、リース料に差が出るものと把握をしている。

委員 建物というと、例えばどのようなものか。

事務局 地域包括支援センターが設置されているビルのテナント代や、駐車場代等である。

委員 赤字になっているセンターと赤字になっていないセンターをみると、腑に落ちない。多くお金を使っているのに赤字になっていないセンターもあれば違うセンターもある。チェックはしているのか。

事務局 法人によって経費をどの費目に計上するかにも差異があるため、ばらつきがあるものと考えている。内容については、確認をしている。

委員 研修費について、金額が少ないセンターがあるが、内部研修などで対応しているため費用が少なくなっているのか。少ないことは良いことだが、研修費用が0のセンターもあるので、伺いたい。

事務局 昨年度も研修費については同様の指摘があり、地域包括支援センターには研修を徹底するよう伝えている。前川包括については、確認したところ、地域包括支援センター全体として月に3、4回程度は研修等に出席するようにしているが、県や国が主催している研修は費用がかからない研修が多く、令和元年度は、費用を0円で計上しているとのことであった。その他の包括でも内部講師等で対応する研修もあり、費用に差があると認識をしている。

委員 69ページ「令和元年度 地域包括支援センター活動状況」の「⑤総合相談事業」は、昨年度から約4,000件減少しているが、減少した要因は何か。

事務局 最も大きな原因は、新型コロナウイルスの影響で、3月は基本的に来所での相談を制限し、電話での対応をとったため、減少したと考えられる。また、近年減少傾向が続いており、確認はしているが特定の要因ははっきりとしないが、地域包括支援センターによっては、複数の案件について1回の聞き取りで効率よく必要な情報を聴取できるようになることで、延べ件数としては減少している場合もある。

委員 71ページの収支決算状況の人件費をみると、人数が5～6名にも関わら

ず人件費が3,000万円以上のセンターと1,700万円程度のセンターがあり、給与に差があるが、この差は各センターの基本給の差か。また、研修に関してだが、ケアマネジャーやヘルパー向けの研修は費用がほとんどかからないのだから、積極的に参加をさせる方針をとってほしい。

事務局 人件費については、毎年ではないが、各法人から給与体系を提出してもらい確認済みである。中央包括などは低いが、給与体系を確認した上での法人の差であると認識している。

委員 どの介護事業所も人材不足であり、あまりにも給与が低いと人材が定着していかないのだから、きちんと給与を保障するようにしてほしい。

委員 高齢者が増えると必要な費用も増えるが、抑制して全世代型の行政をやってほしい。本来、そのことがこの計画の目論見であり、見えるような形にしてほしい。大変だとは思いますが、お願いしたい。

議長 それでは、報告事項(2)「令和元年度 地域包括支援センターの活動状況等について」は、以上でよろしいか。

委員 異議なし。

#### 「その他」

事務局 次回の開催は、11月26日(木)14時からを予定している。開催通知については改めて送付をする。

議長 令和2年度第3回川口市介護保険運営協議会を終了する。

( 会議終了 午後3時00分 )